



**～区独自に港区のモデル校4校で導入～  
小学校の教科担任制を実施します！**

令和4年4月26日  
区長記者発表

# 教科担任制の推進に向けた動き

区は、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、多様な能力を育むため、東京都が配置する教員に加え、**区独自で専任の講師を配置**し、充実した指導体制を整備。

## ■ネイティブ ティーチャーを配置

「外国語」を専門に教えるネイティブの講師を全区立小中学校に配置。

## ■ゼネラルサポート ティーチャーを配置

20人以上の児童が在籍する小学1年生学級を対象に配置し、一人ひとりの児童にきめ細かな対応や支援を実施。

## ■サイエンス アドバイザーを配置

全区立中学校に配置し、理科授業における実験の補助や安全指導などを実施。

## 文部科学省

令和3年1月、専門性の高い教科指導を通じた教育のさらなる質の向上と、学校における働き方の改革実現に向け、令和4年度から教科担任制を本格導入することを決定。  
優先的に教科担任制を導入する対象としている教科は「外国語」「理科」「算数」「体育」。

## 東京都

国の方針を受け、令和3年度に大田区など都内の小学校10校を「小学校教科担任制等推進校」としてモデル校に指定し、令和5年度まで試行実施。



# 港区独自の教科担任制の推進

港区のモデル校4校の高学年児童を対象に、区独自に教科担任制を導入！

## ■港区のモデル校

- 「理科」を導入 ⇒ 筈小学校
- 「体育」を導入 ⇒ 芝浦小学校・芝浜小学校
- 「社会」を導入 ⇒ 白金小学校

■開始日 令和4年4月1日から

■導入教科 理科・体育・社会



## 導入教科の選定理由

文部科学省が対象としている教科のうち、「外国語」はすでに区独自に講師を配置しており、「算数」は都が少人数授業用の教員を配置している。



現在、学級担任のみで授業を行っている「理科」「体育」に加え、教科特性を踏まえて区独自に「社会」も導入！

## ■各教科の授業方針

### 理科

理科の面白さを伝える指導、中学校への接続を見据えた科学的リテラシーの育成を目指した系統的な指導を実施。

### 体育

学年が上がるにつれて技能差や体力差が広がってくることを踏まえ、中学校の内容も見据えた系統的な指導を実施。

### 社会

専門的な知識を生かして体験的な学習を充実させるとともに、子どもたちに社会への参画意識を醸成する指導を実施。

# 教科担任制のイメージ

## ■体育に教科担任制を導入する例

教科	国語 理科 社会 道徳 体育 家庭 など	外国語	算数
教える人	学級担任	学級担任 + ネイティブ ティーチャー	学級担任 + 少人数授業用 教員

令和4年4月から

教科	国語 理科 社会 道徳 家庭 など	体育	外国語	算数
教える人	学級担任	教科担任 	学級担任 + ネイティブ ティーチャー	学級担任 + 少人数授業用 教員

# 教科担任制のメリット

## 教科担任制のメリット

### ■児童の支援を充実

●小学校でも教科担任制を導入することで、生活習慣や環境の違いに戸惑いを感じるなどの、いわゆる「中1ギャップ」の軽減につながる。

小学校:学級担任制

中学校:教科担任制

ギャップ

小学校高学年から教科担任制

スムーズ!

●複数の教員が関わることで、担任以外の教員ともコミュニケーションをとりやすくなる。

### ■授業の質的向上・教員の働き方改革の推進

- 教科を絞ることにより、教員が教材研究をする時間が確保される。
- 同じ内容の授業を複数回行うことで、教員が自らの授業の授業改善を行うことにつながる。
- 学級ごとの授業進行速度が統一されることで、学級間の差がうまれにくくなる。
- 児童一人ひとりの評価を複数人の教員で多面的に行いやすくなる。



導入の効果を検証し、国や東京都の動向も踏まえて今後の本格導入に向けた準備を推進します！